



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社オークネット 上場取引所 東  
 コード番号 3964 URL https://www.aucnet.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長C00 (氏名)藤崎 慎一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員コーポレート部門DM (氏名)谷口 博樹 (TEL)03(6440)2552  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	15,763	6.5	2,760	50.7	2,746	47.0	1,619	69.0
2019年12月期第3四半期	14,803	2.7	1,831	△27.4	1,867	△28.7	958	△33.6

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,587百万円(42.6%) 2019年12月期第3四半期 1,112百万円(△19.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	58.58	58.06
2019年12月期第3四半期	34.79	34.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	35,137	19,341	54.2
2019年12月期	29,324	18,333	61.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 19,042百万円 2019年12月期 18,063百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年12月期	—	10.00	—		
2020年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,682	20.4	3,480	37.8	3,457	31.4	1,763	25.6	63.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	27,825,900株	2019年12月期	27,769,300株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	147,316株	2019年12月期	147,316株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	27,653,327株	2019年12月期3Q	27,545,177株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響が継続している中で、社会経済活動の再開や各種政策の効果もあり、徐々に持ち直しの動きがみられております。しかしながら、国内外での新型コロナウイルスの動向や金融資本市場での影響を引き続き注視していく必要があり、先行きは依然として不透明であります。

このような状況のなか、当社は、「あしたの流通を創造する」をブランドステートメントと掲げ、①次世代の情報流通・新サービスの創造、②競合を凌駕するサービス徹底強化、③海外事業モデルの確立・事業展開等の改革を推進し、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は15,763,930千円（前年同期比6.5%増）、営業利益は2,760,193千円（前年同期比50.7%増）、経常利益は2,746,528千円（前年同期比47.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,619,870千円（前年同期比69.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (イ) 四輪事業

当事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数（※6）は、前年同期比19.8%減の220万台、中古車の登録台数（※7）は、同4.8%減の346万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同7.8%減の367万台、成約台数（※8）は、同13.0%減の220万台となりました。

新型コロナウイルスの影響による厳しい状況が続く中で、当社の中古車オークションでも、流通の大幅な減少等により出品台数は前年同期を下回りましたが、市場動向が緩やかに回復してきたことで、上期よりも状況は改善されてきております。共有在庫市場では、市場動向に加え、中古車オークションの供給不足等も一因となり、取引が増加し、成約台数が急伸びしました。また、ライブ中継オークション及び落札代行サービスにおいても、新型コロナウイルス感染拡大に伴う輸出の一部制限により、輸出業者の利用が減少している傾向にあったものの、リモートでの参加ニーズの高まりから落札台数、落札シェアは前年並みを維持しました。一方、車両検査サービスでは、新車、中古車販売の不振の影響から、受託検査台数が減少し、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）8,703,172千円（前年同期比6.2%減）、営業利益は2,624,994千円（前年同期比9.9%減）となりました。

（※1）中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイム中古車オークションのことです。

（※2）共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。

（※3）ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。

（※4）落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。

（※5）車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。

（※6）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より

（※7）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より

（※8）ユーストカー総合版＋輸出相場版より

## (ロ) デジタルプロダクツ事業

当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

国内事業では、スマートフォン及びPCの入庫、販売が好調に推移したことにより、前年同期より大幅な増収、増益となりました。スマートフォン市場は好調に推移、海外バイヤー網の拡大に伴い、オークションへの参加が活発になり販売単価が上昇したこと、加えて、販売費及び一般管理費の削減や業務効率化の対応を積極的に行ったことで、業績を大幅に改善することができました。また、PC関連事業においては、テレワークの広がりにより、中古流通市場が好調に推移したことが業績に寄与しました。一方、米国事業では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅命令等により経済活動が停止していた状況から事業が再開され、徐々に取扱台数が増加し始めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,283,272千円（前年同期比56.6%増）、営業利益は1,806,484千円（前年同期比301.5%増）となりました。

## (ハ) その他情報流通事業

当事業は、ブランド品、中古バイク、花き（切花・鉢物）のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

ブランド品は、国内の現物会場で休催が続いた中、会員へのフォローアップを通じたオークションへの参加促進施策や国内外の新規会員拡大等の施策を継続的に行い、オンラインオークションとしての優位性が最大限に発揮され、オークション利用の活性化につながり、取扱高、成約数が前年同期を大幅に上回りました。また、海外落札額が米国・欧州を中心に好調であり、前年同期を大幅に上回りました。中古バイクは、新車市場動向は復調傾向であるものの、中古車の玉不足が続き、出品台数の獲得に苦戦しました。しかし、高い成約率を維持することができ、前年並みの利益水準となりました。花き（切花・鉢物）は、新型コロナウイルスの影響によるイベント自粛傾向が続いており、集荷数が軟調に推移していたものの、リモートで仕入れを行うユーザーが増加したことで、会員数が前年同期を大幅に上回り、オークションが再び活性化してきております。また、株式会社東京砧花き園芸市場の買収を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,200,003千円（前年同期比7.6%増）、営業利益は544,826千円（前年同期比5.5%増）となりました。

## (ニ) その他事業

当事業は、システム開発及び提供、通信及び運営保守サービスの提供、中古医療機器関連事業、海外事業等で構成されています。当第3四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）1,058,832千円（前年同期比18.6%減）、営業損失は378,134千円（前年同期は営業損失228,620千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5,812,539千円増加し、35,137,188千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,247,271千円、受取手形及び売掛金が314,831千円、オークション貸勘定が1,242,090千円、たな卸資産が1,013,620千円、有形固定資産が168,726千円、無形固定資産が692,983千円、投資その他の資産が27,619千円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,804,315千円増加し、15,795,410千円となりました。これは主に、買掛金が154,535千円、オークション借勘定が1,680,638千円、短期借入金が1,470,000千円、1年内返済予定の長期借入金が363,247千円、未払法人税等が85,520千円、株式給付引当金が31,422千円、退職給付に係る負債が99,656千円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,008,223千円増加し、19,341,778千円となりました。これは主に、資本金が29,979千円、資本剰余金が26,821千円、利益剰余金が980,647千円、非支配株主持分が29,296千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が40,330千円、為替換算調整勘定が10,599千円、退職給付に係る調整累計額が7,591千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年2月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「2020年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,701,608	15,948,880
受取手形及び売掛金	849,107	1,163,938
たな卸資産	309,770	1,323,391
オークション貸勘定	3,589,476	4,831,567
その他	3,024,220	4,226,687
貸倒引当金	△23,529	△120,600
流動資産合計	22,450,654	27,373,864
固定資産		
有形固定資産	1,482,512	1,651,238
無形固定資産		
のれん	—	820,339
その他	1,513,036	1,385,679
無形固定資産合計	1,513,036	2,206,019
投資その他の資産	3,878,446	3,906,066
固定資産合計	6,873,994	7,763,324
資産合計	29,324,649	35,137,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	604,799	759,334
オークション借勘定	6,040,109	7,720,747
短期借入金	—	1,470,000
1年内返済予定の長期借入金	—	363,247
未払法人税等	493,100	578,621
その他の引当金	118,168	330,280
その他	1,199,558	1,291,075
流動負債合計	8,455,736	12,513,306
固定負債		
株式給付引当金	74,980	106,402
退職給付に係る負債	1,620,592	1,720,248
その他の引当金	10,532	14,350
その他	829,251	1,441,102
固定負債合計	2,535,358	3,282,104
負債合計	10,991,094	15,795,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,729,168	1,759,147
資本剰余金	6,782,326	6,809,147
利益剰余金	9,484,599	10,465,246
自己株式	△241,056	△241,056
株主資本合計	17,755,037	18,792,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246,330	205,999
為替換算調整勘定	4,466	△6,133
退職給付に係る調整累計額	58,106	50,515
その他の包括利益累計額合計	308,903	250,382
非支配株主持分	269,613	298,910
純資産合計	18,333,554	19,341,778
負債純資産合計	29,324,649	35,137,188

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	14,803,353	15,763,930
売上原価	6,745,800	6,666,397
売上総利益	8,057,552	9,097,532
販売費及び一般管理費	6,226,489	6,337,339
営業利益	1,831,062	2,760,193
営業外収益		
受取利息	20,146	52,206
受取配当金	37,035	37,740
その他	72,686	25,982
営業外収益合計	129,868	115,929
営業外費用		
支払利息	1,411	809
為替差損	88,752	87,314
持分法による投資損失	—	891
貸倒引当金繰入額	—	40,322
その他	2,795	256
営業外費用合計	92,959	129,594
経常利益	1,867,972	2,746,528
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	34,094
その他	10,157	617
特別利益合計	10,157	34,712
特別損失		
関係会社株式評価損	74,269	8,624
その他	48,902	—
特別損失合計	123,172	8,624
税金等調整前四半期純利益	1,754,957	2,772,616
法人税等	772,744	1,126,607
四半期純利益	982,213	1,646,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,782	26,138
親会社株主に帰属する四半期純利益	958,431	1,619,870

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	982,213	1,646,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,264	△40,330
為替換算調整勘定	△13,115	△10,599
退職給付に係る調整額	105,592	△7,591
その他の包括利益合計	130,742	△58,521
四半期包括利益	1,112,955	1,587,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,089,173	1,561,348
非支配株主に係る四半期包括利益	23,782	26,138

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダク 事業	その他 情報流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,168,384	2,735,507	2,044,375	13,948,267	855,085	14,803,353	—	14,803,353
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	110,838	—	—	110,838	446,355	557,194	△557,194	—
計	9,279,223	2,735,507	2,044,375	14,059,106	1,301,440	15,360,547	△557,194	14,803,353
セグメント利益 又は損失(△)	2,912,382	449,901	516,230	3,878,514	△228,620	3,649,894	△1,818,831	1,831,062

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発及び提供、通信及び運営保守サービスの提供、中古医療機器関連事業、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,818,831千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,818,831千円で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダク 事業	その他 情報流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,590,298	4,283,272	2,200,003	15,073,574	690,355	15,763,930	—	15,763,930
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	112,874	—	—	112,874	368,477	481,351	△481,351	—
計	8,703,172	4,283,272	2,200,003	15,186,449	1,058,832	16,245,281	△481,351	15,763,930
セグメント利益 又は損失(△)	2,624,994	1,806,484	544,826	4,976,305	△378,134	4,598,170	△1,837,976	2,760,193

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発及び提供、通信及び運営保守サービスの提供、中古医療機器関連事業、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,837,976千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,837,976千円で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他情報流通事業」において、株式会社東京砦花き園芸市場の株式取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては42,964千円であります。

「その他情報流通事業」において、株式会社ギャラリーレアの株式取得に伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては779,523千円であります。